



浜家連 ニュース6月号

第286号

2024年6月1日発行

発行人 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会
事務局 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 番地
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階
電話 045(548)4816・FAX 045(548)4836
URL <https://hamakaren.jp/>

第16回 浜家連通常総会が開催されました。

◆2024年度理事長に井汲悦子さん、副理事長に倉澤政江さん、安富英世さん、菅野義矩さん、音田園恵さんが選出され、三役体制が決まりました。



今井障害支援課長

5月30日(木)第16回通常総会が開横浜ラポール2階大会議室で開催されました。ご来賓として横浜市健康福祉局障害自立支援課今井智子課長、健康福祉・医療委員会から高橋正治委員長、荻原隆宏委員、市精連から大友勝代表、横浜SSJから勝澤昭理事長、あやめ会から長加部賢一理事長がご出席くださいました。

司会の稲垣さんより開会宣言が行われ、宮川理事長の挨拶で総会が始まりました。来賓の方々からは総会開催の祝辞、浜家連に対する感謝や期待のご挨拶をいただきました。そんな中で、「私自身も障害者です」、「奥様が発病されて必死に勉強し精神保健福祉士の資格を取得した」、「家族会ができた頃」のお話など。興味深い話もありました。

議長に高塚清さん、書記に工藤智子さん、浅田容子さん、議事録署名人に小田久子さん。加藤貞子さんを選出し、高塚議長の進行で議事に入りました。

中居事務局長より、参加者59名。委任状27名で定款に基づき総会が成立していることが報告されました。

以下の議案について、安富副理事長、中居事務局長、鷹野監事より提案説明があり、一括で採決の結果、満場一致で承認されました。

- ① 第1号議案 令和5年度事業報告(案)について
- ② 第2号議案 令和5年度活動計算報告(案)について
貸借対照表・預り金(労働預り金)・現金残高一覧表・別途積立金
- ③ 第3号議案 令和5年度会計監査報告

以下の議案について、倉澤副理事長、中居事務局長より提案説明があり、一括で採決の結果、満場一致で承認されました。

- ④ 第4号議案 令和6年度活動計画(案)について
- ⑤ 第5号議案 令和6年度活動予算(案)について

以下の議案について、宮川理事長より提案説明があり、一括で採決の結果、満場一致で承認されました。

- ⑥ 第6号議案 理事・監事の選出について(案)について

以上で議事は終わり、議長・書記は解任されました。

この後、直ちに臨時の理事会が開催され、理事長に井汲 悦子さん、副理事長に倉澤 政江さん、安富英世さん、菅野義矩さん、音田園恵さん、常任理事が選出され、この結果について中居事務局長から報告が行われました。

井汲理事長、菅野・音田両副理事長より新任の挨拶の後、長年先頭に立って活躍された宮川前理事長から退任の挨拶があり、理事になられてから長い間のさまざまな思いが語られました。松本さんから花束が贈られ、惜しみない拍手が送られました。



司会の稲垣さんより「青いとり作業所」施設長の山畑佑介さん、職員の長谷川秀俊さん「わかば工芸」施設長の丸山義明さんが紹介され、ご挨拶をいただきました。

これをもって総会は終了しました。

新理事長ご挨拶

浜家連理事長に就任して

理事長 井汲 悦子

この度、10年の長きに渡って浜家連の先頭に立って家族会活動を進めてくださった宮川前理事長から理事長を引き継ぐことになりました井汲悦子と申します。6年間宮川前理事長のもと副理事長としてそのご活躍を目の当たりにし学ばせていただきました。宮川前理事長の精神保健福祉に対する揺るがぬ思いと冷静で力強い決断力・実行力があつたからこそ、今の浜家連があると思っています。宮川前理事長のご尽力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

私が理事長を引き受けたのは、宮川前理事長の「つなげていくことが大切」という言葉でした。年齢も高い私の役目は、今までの活動を引き継ぎ、次の世代へ橋渡しをすることと思っています。

浜家連は2024年4月1日現在725人の会員が登録されていますが、その当事者、家族を考えるとたくさんの方がいらっしゃいます。また、家族会につながってはいませんが、精神疾患で大変な思いをされている方は数えきれません。精神保健福祉に関して法律や制度は少しずつ変わってきています。しかし、当事者や家族が本当に安心して生活できるようになるにはまだ十分とはいえません。当事者、家族、関係者が声を挙げ続ける大切さを副理事長の活動の中で身に染みて感じました。一人ではなく浜家連として活動することに意義があり、その役割は大きいと感じています。

私は仕事を定年退職してすぐにさかえ会に入会し、会員の皆さんの仲間に入れてもらい元気になりました。様々な研修会や家族による家族学習会で他の家族の方の体験を聞き、病気について知り、地域の当事者活動などで当事者の思いを知ることができました。様々な家族会活動を通して学んだ一番のことは「精神障害者への偏見からの解放」です。お陰で私は自由に街を歩けるようになりました。

家族会の3つの目的「支え合い」「学び合い」「働きかけ」を目指して、国や県、市への働きかけやより良い活動の仕方を当事者、各区家族会、みんなねっと、じんかれん、川崎あやめ会、障神奈連等から学び連携して行っていきたいと思います。

会員のみなさまよろしく願いいたします。

長い間ご苦労様でした。そしてありがとうございました。

理事長退任挨拶

宮川 玲子

就任した当時理事長は手続きなどいろいろあるので2年で辞めるのは悪いから4年位はとっておりましたが、10年も続けるとは思ってもみませんでした。言いたいことは沢山あり、市の審議会などで発言できる機会が多いからと説得され引き受けたのですが、理事長は挨拶

挨拶担当でもあり、会議や講演会、他団体の来賓の挨拶などで何を言おうかと考えるのが大変でした。

浜家連としては精神障害者に対するの偏見解消、福祉の充実を目指して取り組んで参りましたが、現代のようなストレス社会では誰でも病気になりうるとの認識が広まった事は良かったと思います。しかし病気になっても挫折しない社会、当事者が普通に生活できる社会はまだ発展途上にありますので、

浜家連の役割は重要です。役員の方達はとても皆さん真面目で熱心な方が多く、きちんと仕事をされるので10年も続けられたのは皆さんのお蔭とっております。特に三役会ではいろいろな議題を話し合い、この問題をどう乗り切るか思案することが多かったのですが、皆さんと話し合うなかで方向性を見つけられ行動に移すことができました。私としても良い経験になりました。井汲理事長のもと新しい役員体制で今後とも引き続きよろしくお願い致します。

浜家連 副理事長 退任挨拶

土屋 克也

皆様へ

この度、2年間という短い期間でしたが、副理事長の職を辞することとなりました。大変お世話になりありがとうございました。

この2年間でお手伝い出来たお話しをすれば（自己評価ですが）中途半端になった事柄が散見され、申し訳ないと思っています。

自身の考えとして時間は有限であること。その立場にならなければ、分からないこと（景色）が有ると思っています。

この2年間でどれほどの景色が見れたかは中々判断できません。が、時間の経過と共に見えてくるものと推測しています。

土屋自身は、従来続けている区単会（みなみ会）の会長職。東京千代田区に拠点を置く建設業（中小企業）で今後も活動予定です。

そして、皆様方のご活躍ご検討を祈念しております。

ありがとうございました。



【訃報】

5月8日（水）大羽更明様が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

大羽様は浜家連の副理事長として、長年の間活躍されました。



大羽さん逝去を悼んで

前理事長 宮川玲子

浜家連で副理事長として8年間ご活躍された大羽更明さんが5月8日ご逝去されました。肝臓がんと聞いておりましたが、メンタルヘルス講座の時はご来場頂きまだお元気そうでしたので、突然の知らせに驚いております。大羽さんは施策委員会での委員長として、横浜市に提出する要望書の原案を皆さんの要望を聞いてまとめて下さり、市会の各政党や健康福祉局との懇談では活躍して頂きました。また豊富な知識量を活かし、福祉ガイドの作成や講演会のズーム化などにも取り組んで下さいました。今まで当事者の社会的向上のため活躍して頂き有り難うございました。心からのご冥福をお祈りいたします。



☆要望書の提出、懇談会を行っています☆

横浜市及び横浜市会各会派へ令和7年度予算編成に対する要望書の提出、懇談会を以下の日程で行います。私たちの思いを伝える絶好の機会です。皆様の参加をお待ちしています。

提出及び懇談先	日程	時間
公明党	6月12日(水)	9:00~ 9:45
立憲民主党	6月12日(水)	10:45~11:15
自由民主党	6月18日(火)	10:40~11:20
日本共産党	6月20日(木)	10:00~11:00
横浜市健康福祉局	8月 5日(月)	10:00~11:30
日本共産党 神奈川県議団	未定	

単会からのたより

10年ぶりのわかば会

わかば会 神代真喜子



福岡県北九州市から10年ぶりに戻った横浜。もといた家族会のわかば会に迷うことなく入会した。浜家連の土台を築かれた90代、80代の先輩たちは今も凜とされていて、一番つらかった時に語り合い励まし合った顔ぶれにほっとし、懐かしさがこみ上げた。よく遊び、よく学び、よく語り合うわかば会のおかげで、クルージングで、羽田空港で、横須賀美術館でと遊びながら打ち解け、元気をいただいた。娘も今は事業所に通っているが、昔外へ出るきっかけを下さり大変 お世話になったかもサポートのYさんに会うことができ嬉しそうだった。家族学習会の初代担当者のKさんに「悲嘆からの回復のプロセス」を教えていただき自分を客観視できたことで娘との距離の置き方など気づきどんなに助けられたことか、今でも感謝している。

浜家連は昭和54年誕生したという、私がお世話になった北九州の家族会は、昭和57年設立。歴史は古く40年以上の歴史を持つ家族会である。任意団体である家族会(3区の会員数100名以上)は当事者のために事業所4か所、GH2か所を開設。現在は社会福祉法人として家族会と連携しながら別枠で運営。どちらの家族会へも手弁当で走り続け土台を築いてくれた先輩たちに頭が下がるばかりだ。「人は会うべき時に会うべき人と出会えるようになっている。自ら扉をたたきさえすれば」というフンボルトの言葉のように家族会で出会ったやさしい方々とはどこにいても語り合え、今も新情報など届け支えてくれる宝物のような存在だ。家族会はあたたかい!!

予測困難なVUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)の時代、そして高齢化率が高くなり新たなフェーズに入る家族会。それぞれの立場、状況の違いを本当の意味で理解するのは容易なことではないが、物事の本質を考えることを忘れずに皆さんと語り合いながら楽しく歩んでいこうと思う。

【編集後記】総会を終え、新しい三役体制が発足しました。長年の間浜家連を牽引してきた宮川玲子さん、そして土屋克也さんが退任されて多少の不安は残りますが、皆様の協力を得ながら、より良い浜家連になるようにと願います。(事務局 中居)